

## 学びのとき

仲嶺 真弓

アトム共同福祉会主催「子育てと保育を考える集い」を1月29日（日）に開催しました。32回目となる今回のテーマは、「探しものは何ですか？ ～希望を見つける懇談会～」で、遠くは鹿児島から、和歌山、東大阪からの参加者を含め、つばさ・アトムOG保護者や卒園児、つばさ・アトムの現役保護者など50人ほどの参加者で学びの時間を共有しました。3つのテーマ（①中・高生、青年として大人に伝えたいこと②大人・親の探しもの③職業人の探しもの）に基づいて5人の話題提供者の発表のあと、各テーマのグループ交流会に分かれてそれぞれの探し物…希望をみつける懇談会が行われました。交流会での詳しい内容は、実行委員からの報告が後日あると思うのでここでは割愛させていただきますが、どの交流会も1時間という短時間でしたが充実した話となり、その後の全体報告会も有意義な時間を過ごすことができました。集い終了後の食事会も外部の人も含めて20名が参加。集いの余韻を楽しみました。

私自身も話題提供者の一人で③のテーマで職員に思うことをお話しさせてもらったのですが、自分の気持ちを文章にすることで、改めて何を職員に問いかけたいことがはっきりしました。私の問いかけは『仕事をする』ことは自分の人生でどんな意味があるのか考えたことがありますか？ そんな話も含めて『仕事の話』『職場作りの話』ができればいいなという内容の話題提供だったのですが、その問いかけについて職員がどう受け取ってくれたかは、交流会では時間がなく聞けなかったのですが、またゆっくり聞いてみたいと思います。

集いの参加者は中・高生から社会人まで、社会人も保護者、職員、管理職と色々な立場の人がいたのですが、色々な立場の人からの意見が聞けることで、自分一人では思いつけない方向から物事を考えることができます。私自身も毎年そんなことを実感するのですが、参加した保護者や外部の方からは「そんな大切な時間をくれる集いをこれからも続けてほしい。また一年後の集いもここにきてその後の自分の話も報告したい」という感想も聞かれました。子どもも学びながら成長するように、大人の私たちも学び成長し合えることが、今よりも楽に明るく生きられる一番の近道なのだろうと思います。来年もまた学び合いたいと思います。



### 【 貴重な意見ありがとうございました ～パパ懇談会～ 】

お父さんたちからいろいろな意見をもらいました。詳しくは次ページの以上児主任志賀の感想に書いていますが、園長の私についても思うこと話してくれたお父さんもいました。お父さんの話から私が理解したのは、「この保育園の園長の顔がみえない。もっとガツガツきてくれたらいいのに。たとえば10月の運動会の最後の挨拶も園長がしないのはなぜなの？ なぜ主任の挨拶でおわりなの？ 話すのが苦手って言っていたけど、パパと子のクッキングでも、もっと父の間に入ってきてくれたらいいのに…」ということでした。私自身は園長を引き継いだ3年前から、自分の性格からくる苦手意識は、もうすでにどこかに切り捨てて園長職に向かっていて、私なりの考えがあつての動き（運動会の挨拶についてはつばさっ子11月号の巻頭でも書いたのをまた読んでみてください）があつたのですが、あらためてお父さんからの意見をきいて驚いたのです。でもよくよく考えると、私の考えや職員間の動きも保護者からは見えないわけで、お父さんが投げかけてくれたことで、私がこの3年間の園長職でどんなことに力を入れていたのか、何に配慮してきたかを直接話して少し伝えることができ、そんなやりとりのチャンスをお父さんからもらえたことが嬉しく感じました。お父さんから最後にもうひとつ、「とにかく、父にしてほしいことがあれば、どんどん言うてみて。けっこう父は、間際になってからのお願いでも、動ける人は動けるから。」と言ってくれました。その言葉を嬉しく感じながらも、「けれど、こんな時ばかり父の出番か…ってしんどくなる人もいるんじゃないかと考えてしまって、なかなか声をかけられないのよ。」と私が言うと、お父さんからはこんな言葉が返ってきました。「できないことは、はっきりできないと言わしてもらってから、まずは言うてみてよ。」どんな迷いも吹き飛ばしてくれる心強いお父さんからの魔法の言葉に、この上ないパワーをもらいました。久々に心に響くお父さんとの言葉のキャッチボールが心地よく、新たな学びの幕開けを実感しました。ありがとうございました。